

基本施策名	26	環境問題などに協働して取り組む	評価責任者 (基本施策主管課長)	人権生活環境部環境政策課長 服部 寿一
生活課題	ダイオキシン汚染など、長い時間がたつと分からない問題にも、住民が意識を持		生活課題に対する満足度 H27目標値	65.0 %

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標	意欲
	政策	環境への取り組みが進むまちづくり
①	市民意識調査結果	<p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>必要度、満足度ともに平均に近いが、満足度は平均をやや下回っている。省エネ活動や地球温暖化については、数値で表せる部分が少ないこともあるので、満足度が低いのではないかと考える。</p> <p>参考 満足度（満足意識） 20.0 % 必要度 86.1 %</p>
③	基本施策の現状と課題	産業廃棄物最終処分場周辺地域における環境整備事業については、地元立会いの下、事業を進めているが事業規模が小さい上にそれぞれに点在しているため事業着手が遅くなる。また、EMS事業については、伊賀市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)も活用し、二酸化炭素排出量削減を目指す。
④	基本施策の意図、今後の展望	産業廃棄物最終処分場周辺の環境整備は三重県からも補助を受け、昨年度は22件行った。しかし、補助率1/2につき、伊賀市の財政も非常に厳しい面があり、三重県に対して補助金の上限アップ及び補助率の見直しを要望する。また、伊賀市環境マネジメントシステム推進事業については、各職場の進捗状況の把握に努める。

⑤ 基本施策指標（総合計画数値目標）

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度			目標値		指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27			
1 事業進捗率	目標	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	事業は、単年度事業であるため計画どおり執行したかを進捗率で判断するため。
	実績	%	100.0	100.0					
	達成率	%	100.0	100.0					
	目標								
	実績								
	達成率	%							
	目標								
	実績								
	達成率	%							
	目標								
	実績								
	達成率	%							
	目標								
	実績								
	達成率	%							

⑥ 基本施策構成事務事業の評価

基本施策を構成する事務事業名	担当課	I D	事業名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			基本施策貢献順位
					H23 決算額	H24 予算額	H25 所要額	
1	人権生活環境部環境政策課	494	産業廃棄物最終処分場周辺環境整備事業	無	19,181	18,600	18,600	1
2	人権生活環境部環境政策課	496	伊賀市環境マネジメントシステム推進事業	無	3,303	1,519	1,519	2
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
（ 以 下 続 紙 ）								
事業費合計					22,484	20,119	20,119	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業（総合計画実施計画の期間内に実施を予定する事業）

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	最終処分場周辺地域における住みよい環境づくりの基盤を図るため継続した支援が必要である。環境マネジメントシステム推進事業については、省エネ法に基づきエネルギー使用量の把握に努める。
2 事業構成の適当性（手段として最適か？）	最終処分場の周辺地域における生活基盤の整備を行うため生活道路改良や側溝整備等を実施した。
3 役割分担の妥当性	個々の事業規模が小さいため事業着手が遅いが、各事業課と連携を密にして事業推進を行う。また、全職員に地球温暖化対策実行計画の周知を図り意識の向上を進める。
4 総合評価（今後の方向性、事業の見直しについて等）	産業廃棄物最終処分場周辺地区の住民の安全、安心面を考え整備対応を行っている。今後の展開として、住環境の整備と地域の環境保全に努める。なお、事業着手が遅い部分については、担当課と協議を行い、ゆとりのある執行計画を立てるようにする。また、伊賀市環境マネジメントシステム推進事業については、進捗管理及び達成状況の把握に努め、環境管理推進会議に諮り改善点を見出していく。